

平成17年度第1回全国航空消防防災協議会研修会次第

(会場 3階 金枝の間)

第1日 7月14日(木)

1 開講の辞 (13:10~13:30)

(1) 開講あいさつ

全国航空消防防災協議会会長 (代)

神奈川県安全防災局消防防災担当課長 石崎健氏

(2) 来賓あいさつ

総務省消防庁救急救助課長 大島雅彦氏

2 講義1 (13:30~15:00)

「今後の航空医療の展望」

北海道保険福祉部医療政策課主任技師 伊藤靖氏

3 講義2 (15:50~16:20)

「航空法改正の概要等」

国土交通省航空局完成保安部保安企画課

保安企画係長(法規担当) 中橋宗一郎氏

4 質疑応答 (16:30~17:30)

総務省消防庁救急救助課航空係長 菅野晃一氏

5 懇談会（18：00～） （会場 2階玉葉西の間）

第2日 7月15日（金）

1 分科会 （8：30～10：25）

(1)第1分科会 （会場 3階 金枝の間）

テーマ「ヘリコプター飛行中における除細動の実施について」

座長 秋田県消防防災航空隊救助副小隊長 田中伸治氏

(2)第2分科会 （会場 2階 玉葉西の間）

座長 秋田県消防防災航空隊救助副小隊長 小田陸浩氏

2 意見交換 （10：35～11：35）

（会場 3階 金枝の間）

3 報告 （11：35～12：00）

（会場 3階 金枝の間）

「秋田県消防防災航空隊の活動状況について」

秋田県消防防災航空隊隊長 田村鉄夫氏

4 閉講の辞 （12：00）

全国航空消防防災協議会平成17年度第1回研修会開催される

全国航空消防防災協議会では、平成17年度第1回研修会を7月14日（木）・15日（金）に秋田県で開催した。開催地とした協力いただいた秋田県から次のような報告が寄せられたので紹介する。

全国航空消防防災協議会の平成17年度第1回研修会は7月14日（木）・15日（金）の両日41都道府県及び7都市の消防・防災航空隊から96名の参加により、三井アーバンホテル秋田で開催されました。

開催にあたり全国航空消防防災協議会会長代理の石 健神奈川県防災局消防防災担当課長、開催地県総合防災課の米谷民憲課長、来賓の総務省消防庁上関克也救急救助課長から挨拶をいただきました。

研修会の概要を以下のとおり報告いたします。

● 第1日

講義

「今後の航空医療の展望」

北海道保健福祉医療政策課 主任技師 伊藤 靖氏

航空救急医療についてこれまでの救急医療の変遷、北海道におけるヘリコプター搬送の現状、諸外国の救急ヘリコプターについて紹介され、これからの「発生現場からの医療」の展望をパワーポイントを用いて講義されました。

「航空法改正の概要等」

国土交通省航空局管制保安部保安企画課（法規担当） 中橋 宗一郎氏

近年の航空交通量の増加及び羽田再拡張等による今後の更なる航空交通量の増大に対応するための、航空法の改正5項目についてパワーポイントを用いて講義されました。

質疑応答

総務省消防庁国民保護・防災部防災課応急対策室航空係長 菅野 晃一氏

運航上の問題等、視界不良時の管制化空港ではない第三種空港における緊急要請時の消防防災ヘリの離陸遅延について回答並びに説明をされました。

● 第2日

分科会

同時間に2会場でそれぞれのテーマに基づき情報交換が行われました。

第1分科会：「ヘリコプター飛行中における除細動実施について」

座長 秋田県消防防災航空隊救助副小隊長 田中伸治氏

東京消防庁航空隊の救急救命士関口和良氏から実際の活動事例、A E Dの検証について発表していただき、また宮崎県防災救急航空隊、熊本県防災消防航空隊からさまざまな取り組みや対応策を発表していただきました。

第2分科会：「他機関ヘリコプターとの捜索・救助連携について」

座長 秋田県消防防災航空隊飛行副小隊長 小田睦浩氏

三重県防災航空隊の副隊長泉直樹氏から、各関係機関との取り組み状況について発表していただき、また新潟県消防防災航空隊から活動事例などを交え情報交換を行いました。

意見交換

運航上の問題、消防・防災航空体制上の問題、教育訓練上の問題、航空事故防止上の問題について積極的な意見交換がなされました。

報告

「秋田県消防防災航空隊の活動状況について」

秋田県消防防災航空隊隊長 田村鉄夫氏

秋田県の地域特性、平成11年の運航開始からの活動状況や県警ヘリとの連携についてパワーポイントを用いて報告されました。

最後に全国航空消防防災協議会の合志事務局長の閉講挨拶で、2日間にわたる研修会を締めくくり、今後この研修会が活動現場で活かされることを祈念して終了しました。

